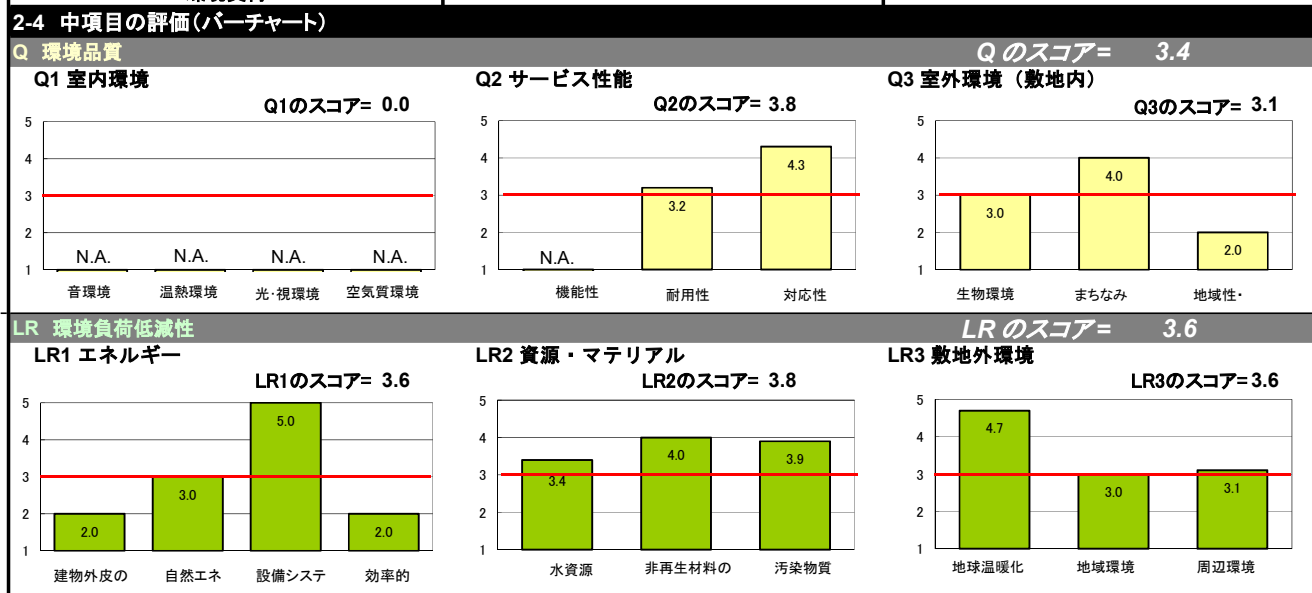
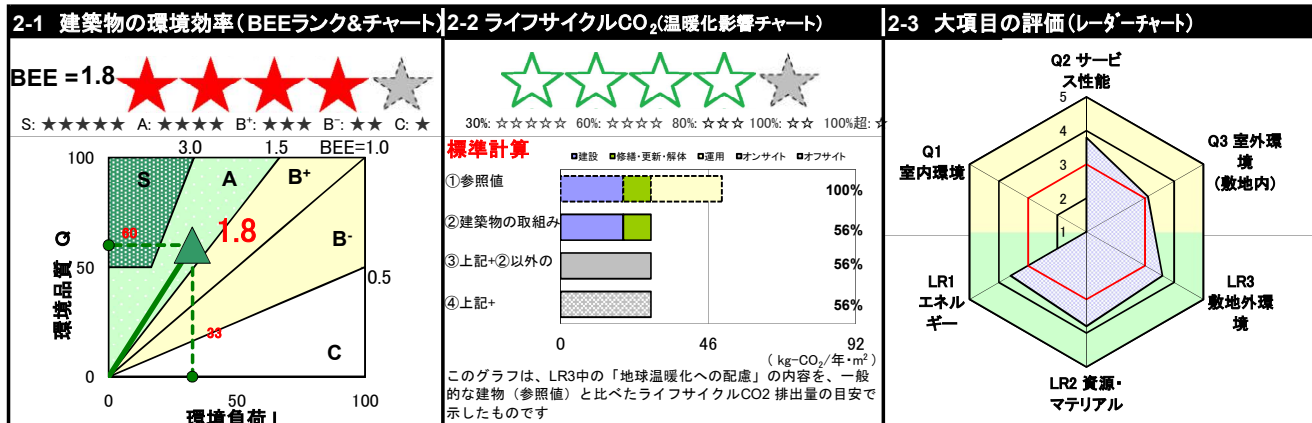


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小牧新小本物流倉庫 新築工事	階数	地上4F
建設地	愛知県小牧市	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	360 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2025年1月16日
敷地面積	24,772 m ²	作成者	矢作建設工業株式会社
建築面積	15,757 m ²	確認日	2025年1月16日
延床面積	54,372 m ²	確認者	矢作建設工業株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・愛知県小牧市に建設される4階建ての倉庫である。 ・LED照明や節水器具を採用し、環境負荷の低減に配慮した計画である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐久性の向上に配慮している。	・敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明の採用等により、エネルギー使用量削減に配慮した計画としている。	・節水器具を採用し、水資源保護に配慮した計画としている。	・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
(仮称)小牧新小木物流倉庫 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.4	
Q1 室内環境									
1 音環境				-	-	-	-		
1.1 室内騒音レベル				-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境				-	-	-	-		
2.1 室温制御				-	-	-	-		
1 室温				-	-	-	-		
2 外皮性能				-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				-	-	-	-		
2.3 空調方式				-	-	-	-		
3 光・視環境				-	-	-	-		
3.1 昼光利用				-	-	-	-		
1 昼光率				-	-	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				-	-	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-		
1 昼光制御				-	-	-	-		
3.3 照度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				-	-	-	-		
4 空気質環境				-	-	-	-		
4.1 発生源対策				-	-	-	-		
1 化学汚染物質				-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	-	-		
1 換気量				-	-	-	-		
2 自然換気性能				-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.43	-	-	3.8	
1 機能性				-	-	-	-		
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.2	0.50	-	-	3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装材を採用		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電設備の採用等		5.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		通信手段の多様化等		4.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			4.3	0.50	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	-	-	
			4500N/㎡以上				
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材、仕上材を傷めずに修繕、更新が可能	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	構造部材、仕上材を傷めずに修繕、更新が可能	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.57	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
			まちなみ、景観に配慮した計画				
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			—	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.20	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			5.0	0.50	-	-	5.0
			効率の良い設備機器を導入				
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	—	1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
			自動水栓、節水型便器等を採用				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減			5.0	0.10	-	-	
			BCP材の採用等				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
			リサイクル材を3品目採用				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	
			OAフロアの採用等				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.30	-	-	
			PRTR法非該当の建材4種以上採用				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	—	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=10以下	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			4.7	0.33	-	-	4.7
			高効率な設備機器を採用し、CO2を低減				
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
			燃焼機器を使用していない				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
2	振動	—	-	-	-	-	
3	悪臭	—	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

(仮称)小牧新小木物流倉庫 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-						
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	4.0	3.0	○	○	○	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	3.0		○	-	○	-	○	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0		2.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	-	1.0	-	-	-	-	1.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	7.0		-	3.0	4.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-									
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		1.0	-	-	3.0	-	-	-	1.0	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)		
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH
屋光率	0.0%			
自然換気有効開口面積率	0.0%			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	0㎡/人	病床	0㎡/床	シングル	0㎡ ツイン	0㎡
--------	------	----	------	------	--------	----

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

コンセント容量	0.0 VA/㎡
天井高	0 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	6.2 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	7.0%
-------	------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	15000 N/m2
-----	------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	18%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	36%	水平投影面積率	18%	地表面对策面積率	7%	舗装面積率	0%
-----	-----	---------	-----	----------	----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	1.00	断熱等性能等級	等級2 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
--------------	---------	-----------	------	-----------	------

通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
-----------	------	-----------	------

3 設備システムの高効率化

BEI/BEI _m	非住宅	-	住宅	-	太陽光	0kW	太陽熱等	0kW	蓄電池	0kW
----------------------	-----	---	----	---	-----	-----	------	-----	-----	-----

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	磁器質タイル、ビ:エコマーク商品	舗装材	自治体指定の特定品目等	-
--------	------------------	-----	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3以下
---------------	---	--------------	-----

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比		#DIV/0! 隣棟間隔指標Rw 1.65							
地表面对策面積率		8.0%	屋根面对策面積率		#DIV/0!	外壁面对策面積率		#DIV/0!	
見付面積Sb		m²	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws		0 m	基準高さHb		0 m	
緑地	1,453m²	水面	m²	保水性対策面	m²	高反射対策面	m²	再帰性反射対策面	m²